

岩手県感染症週報

平成18年第2週（1月9日～1月15日）

岩手県結核・感染症情報センター

第2週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

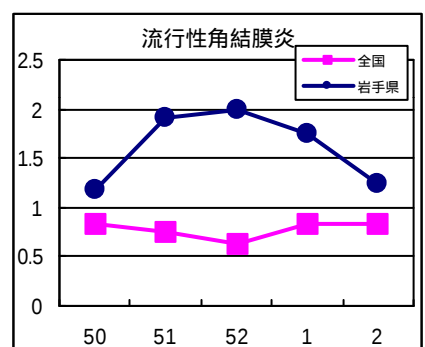
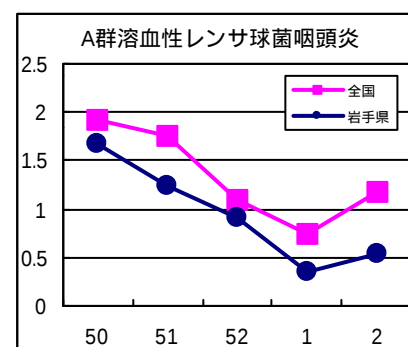
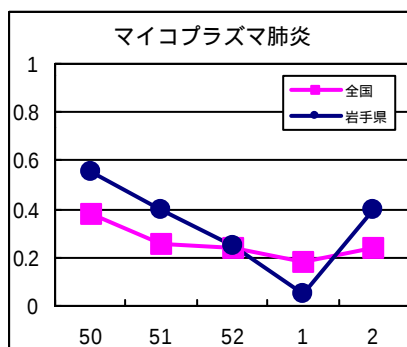
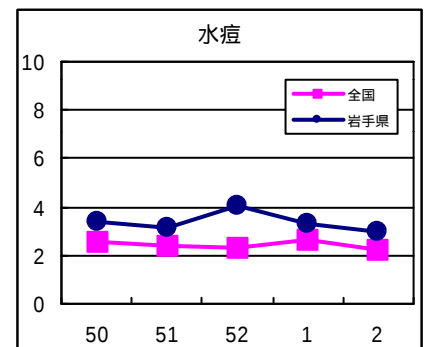
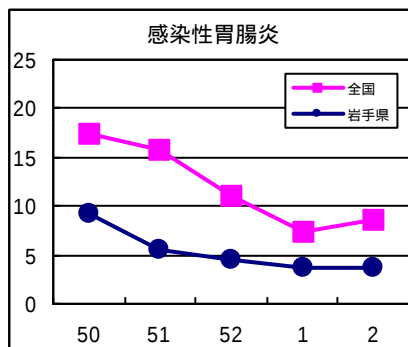
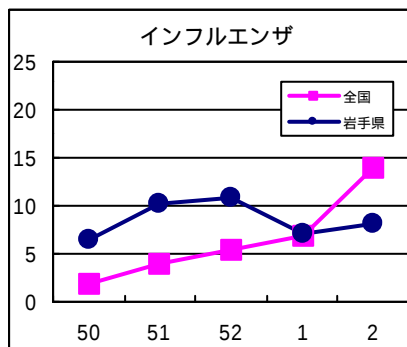
・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、前週は年末年始休などの影響で患者数はやや減少しましたが、この週には再び増加しています。この週に注意報値（定点当たり患者数10.0人）を超えている地区は、北上、水沢、一関、久慈地区です。盛岡地区は県内ではもっとも早く、昨年11月頃から流行が始まりましたが、年が明けてからは患者数は比較的少なくなっており、今後、流行は県南、沿岸地域に拡大していくものとみられます。同疾患による学級閉鎖等の措置は、年が明けてから北上地区と一関地区のそれぞれ1校でとられており、冬休みが終了し3学期が始まるこれからの時期には、十分な感染予防対策が必要です。インフルエンザの感染予防には、帰宅後のうがい・手洗い、できるだけ人混みにでないこと（人混みではマスクが有効）、睡眠と栄養を十分にとることなどが有効ですが、インフルエンザにかかった場合には早めに医療機関を受診することが大切です。
- ・感染性胃腸炎は、今シーズンの流行のピークは昨年12月下旬に越えたものとみられますが、ノロウイルスによる集団感染が各地で多発しており今後とも注意が必要です。
- ・水痘は沿岸、県北の各地区では減少傾向にありますが、花巻、北上、水沢地区では増加傾向にあり、特に水沢地区では前週に引き続き警報値（定点当たり患者数7.0人）を超えています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		50	51	52	1	2		
インフルエンザ	岩手県	6.51	10.24	10.86	7.14	8.14		
	全国	1.88	4	5.34	6.82	13.88		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.03	0.03	0.03	0		
	全国	0.42	0.41	0.35	0.25	0.24		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.67	1.23	0.9	0.36	0.54		
	全国	1.92	1.75	1.1	0.74	1.17		
感染性胃腸炎	岩手県	9.13	5.51	4.59	3.64	3.67		
	全国	17.44	15.87	11.15	7.28	8.56		
水痘	岩手県	3.38	3.15	4.08	3.33	2.95		
	全国	2.59	2.36	2.3	2.66	2.21		
手足口病	岩手県	0.49	0.54	0.41	0.13	0.1		
	全国	0.23	0.17	0.11	0.07	0.08		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.08	0.03	0.03	0.13		
	全国	0.23	0.18	0.15	0.17	0.29		
突発性発疹	岩手県	0.44	0.38	0.36	0.36	0.26		
	全国	0.59	0.55	0.44	0.39	0.63		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0		
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0		
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.33	0.08	0.05	0.18	0.28		
	全国	0.05	0.04	0.03	0.02	0.02		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.64	0.44	0.56	0.54	0.54		
	全国	1.46	1.55	1.23	1.45	1.56		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0.01	0.02	0.02	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	1.92	2	1.75	1.25		
	全国	0.84	0.75	0.62	0.83	0.84		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	2	0	0	0	0		
	全国	1864	1563	1263				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.55	0.4	0.25	0.05	0.4		
	全国	0.38	0.26	0.24	0.18	0.24		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0.01	0.02	0.02	0	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）								（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県						全国	
		（週） 50	51	52	1	2	累計	2	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢	0	4	0	0	0	0	10	17
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	9	15
四、五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	6
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	2
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	2	4
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	1	6	18
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	5
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	1
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	1
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	6	6
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	6
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けできるよう準備していますので、ご了承ください。

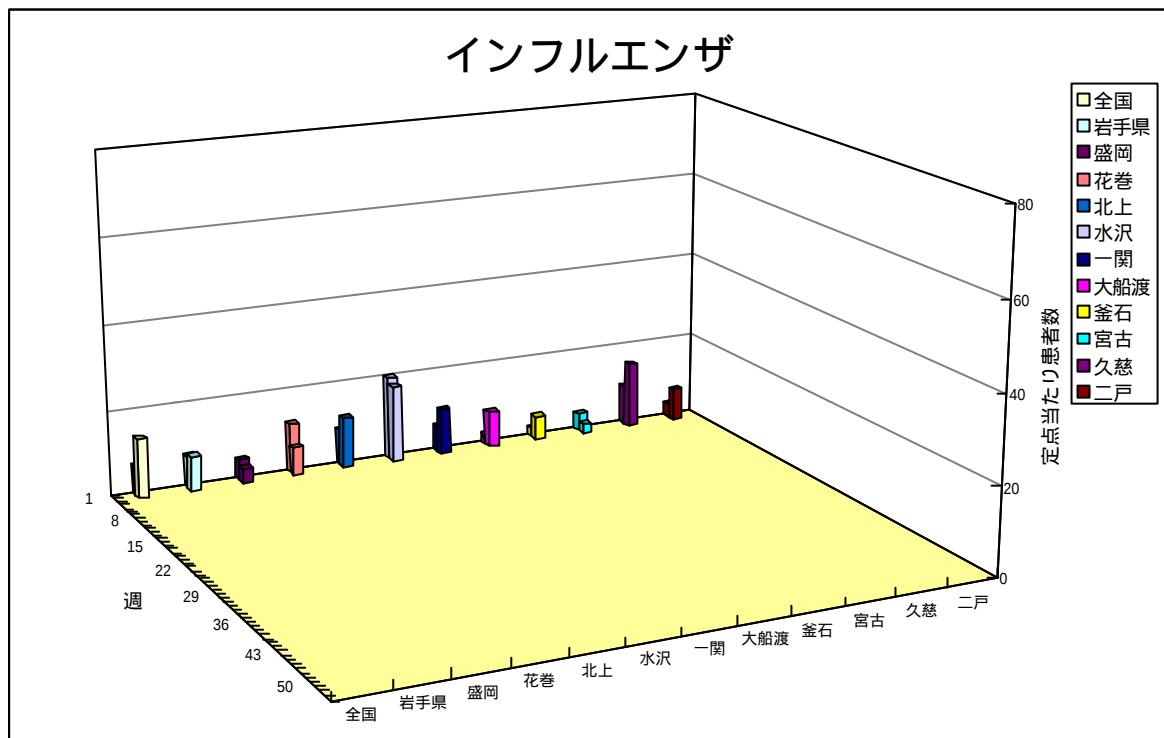
今注目の感染症

インフルエンザ

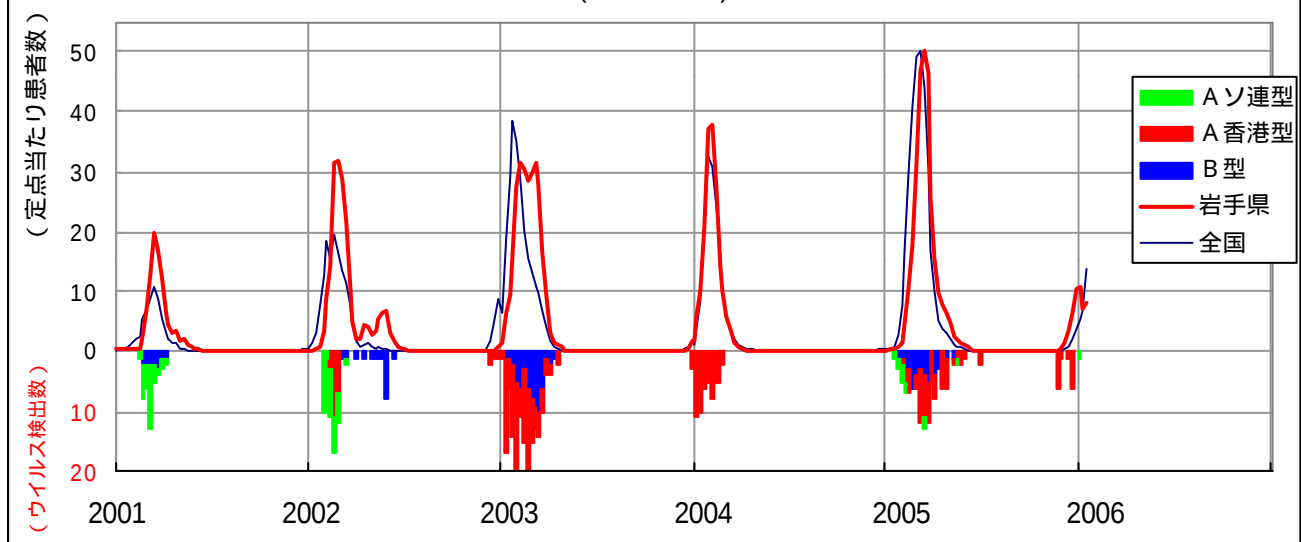
インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

年末年始休などで、一時は患者数が減少したが、1月中旬からは学校などで3学期が始まることもあり、さらに患者は増加することが予想される。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



インフルエンザ 患者報告数とウイルス検出状況の推移
(2001-2006)



病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の患者の便から A 群ロタウイルスを 2 例、ノロウイルス遺伝子型 II を 2 例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス 37 型を 2 例、単純ヘルペスウイルス 1 型を 1 例分離検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 1 例、A ソ連型インフルエンザウイルスを 1 例分離検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス 2 型を 1 例分離検出しました。

医療機関からの情報

- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・今週から学校が始まり、少しずつ風邪が流行し始めた。しかし、インフルエンザはまだのようだ。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（1/19まで）

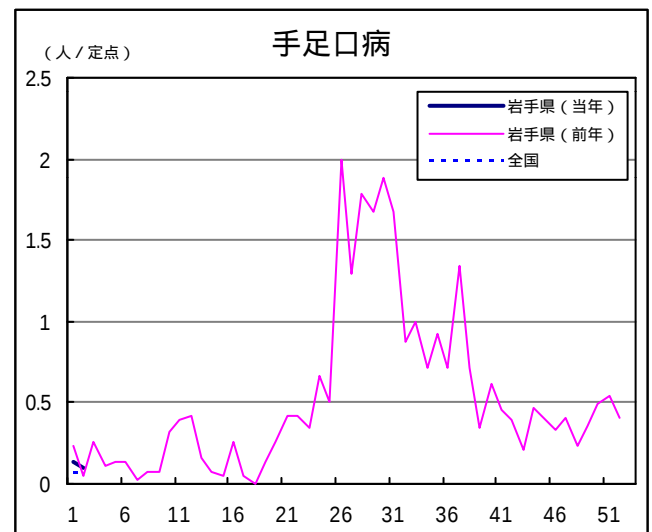
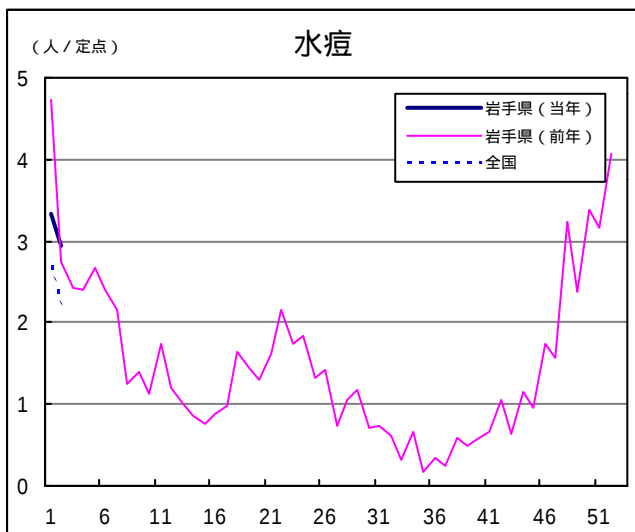
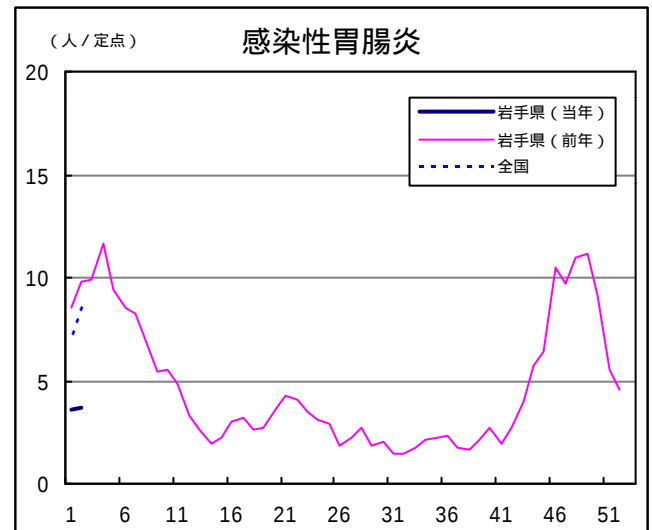
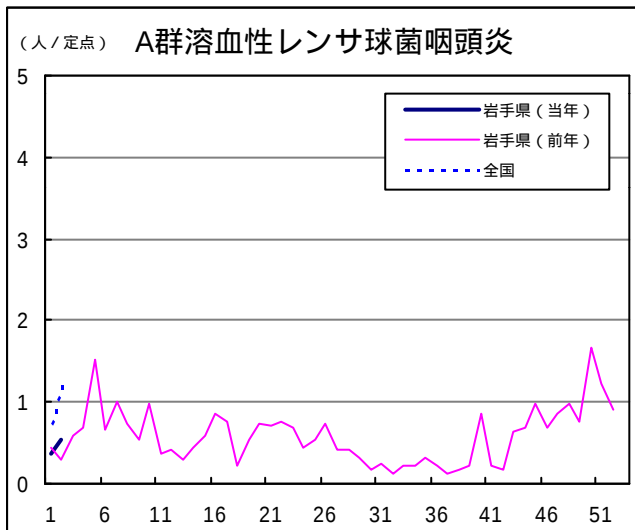
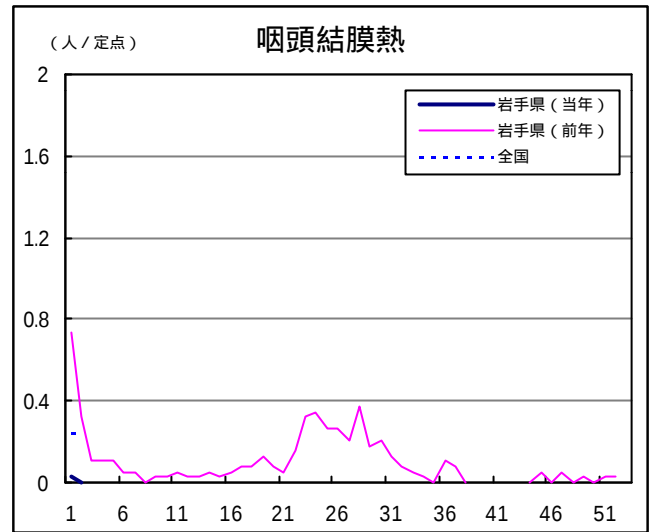
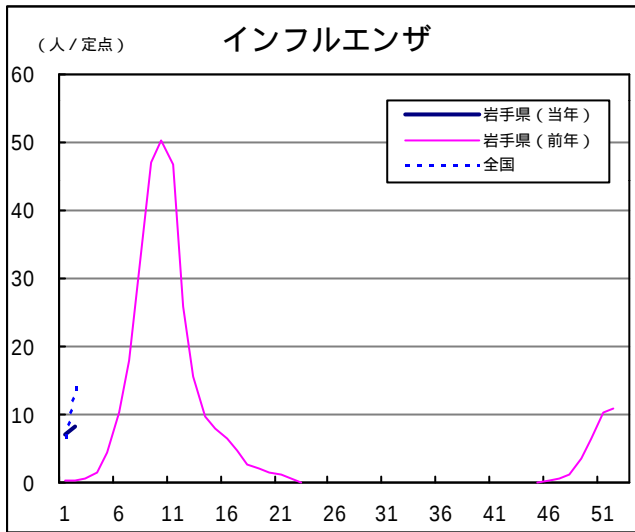
岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
18	12	2	1	1	1	0	0	0	1	0

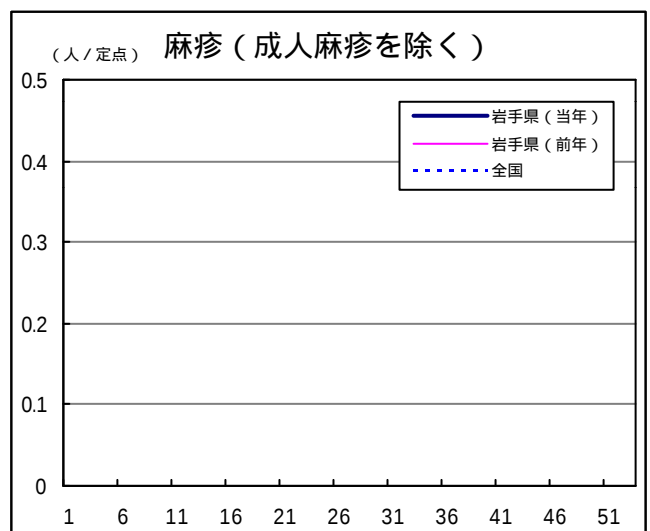
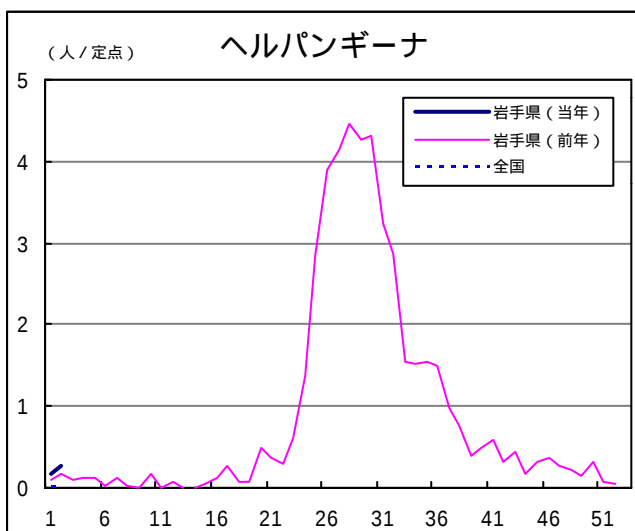
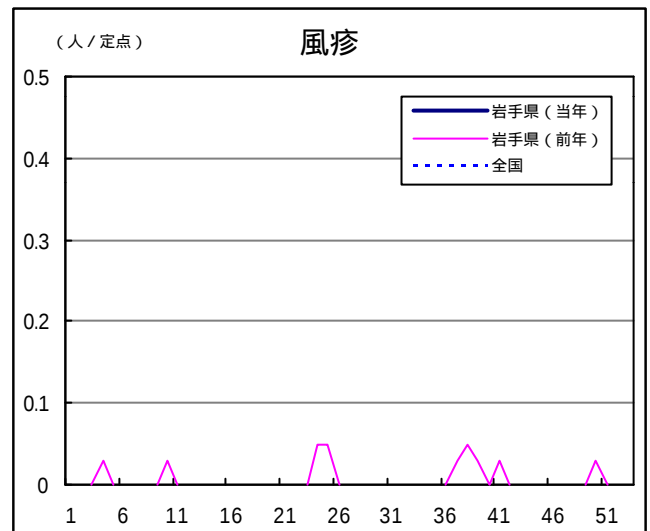
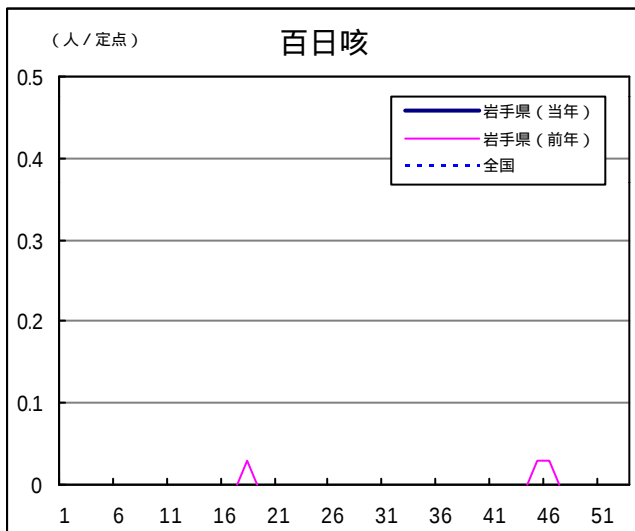
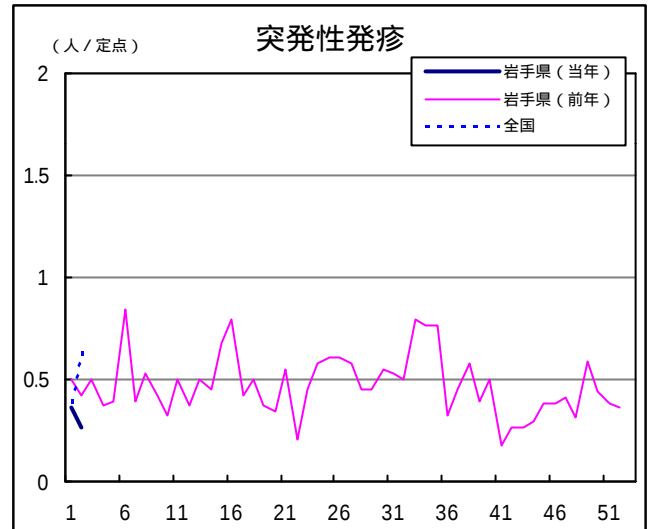
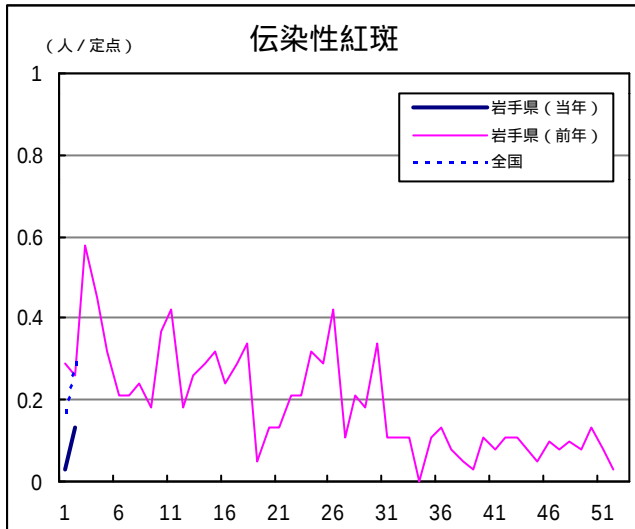
Q & A

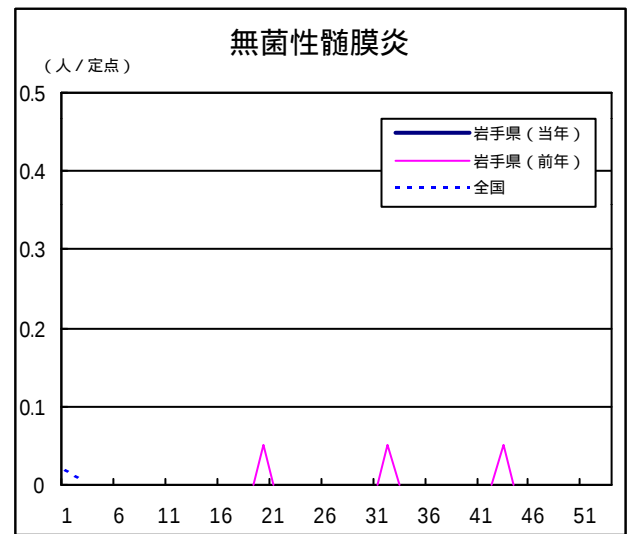
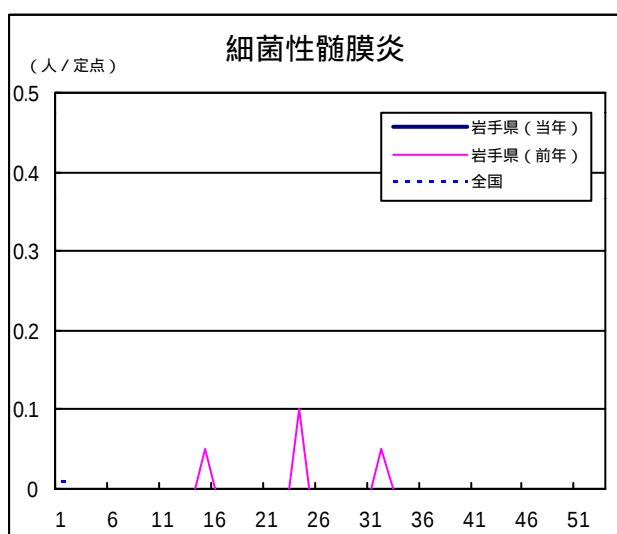
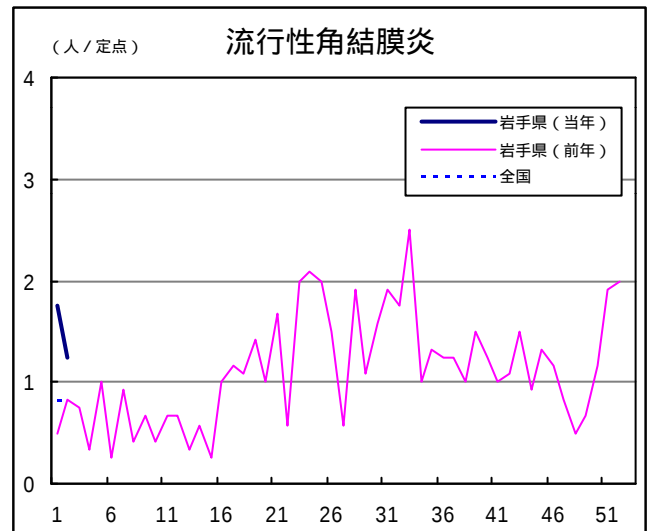
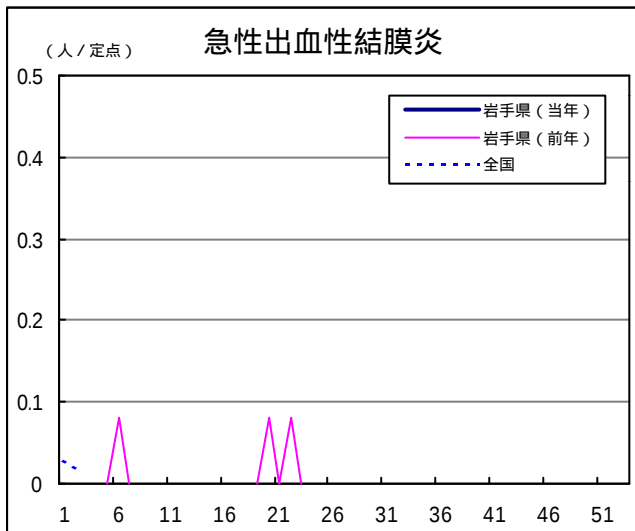
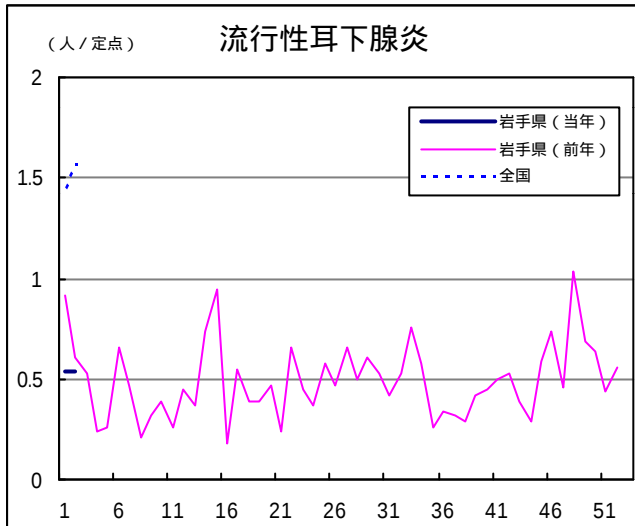
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

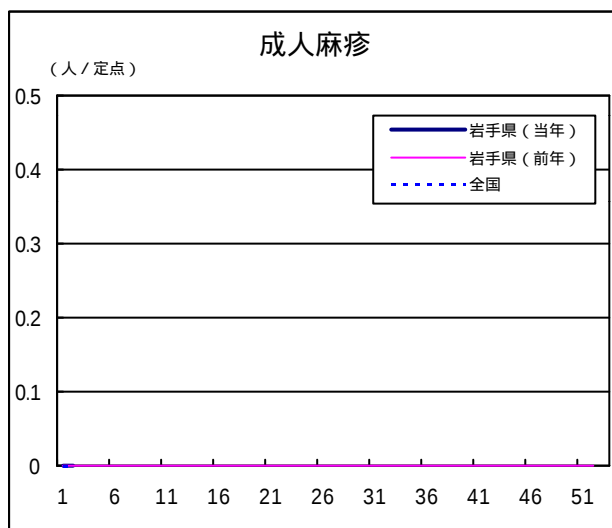
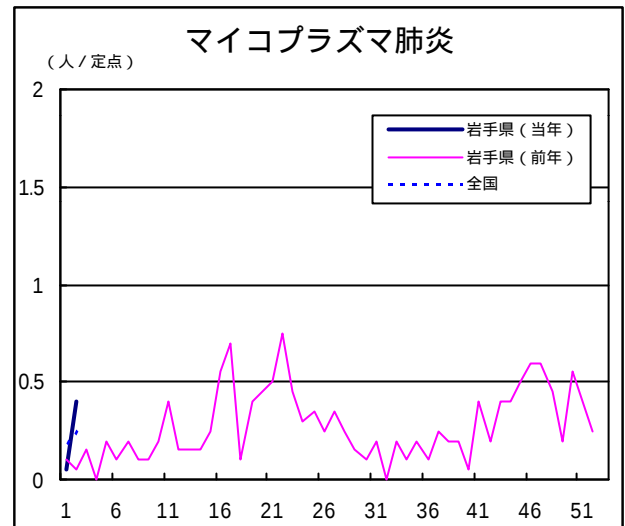
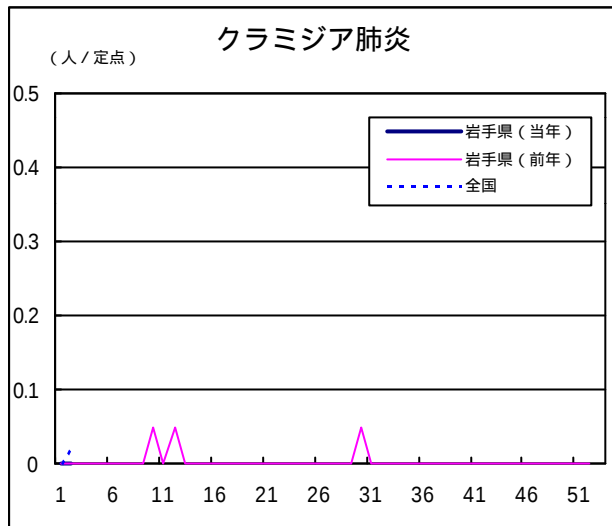
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL: 019-656-5669（直通） FAX: 019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「**岩手県感染症情報ウィークリーマガジン**」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

無料です!!

岩手県感染症週報 平成18年第2週 平成18年1月20日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>